

はとめき

2016年
第9号

「はとめき」とは筑後の方言で「おもてなし」という意味です。
書：院長 田中 眞紀



2016年5月撮影 航空写真

当院の理念

地域住民の多様なニーズに応え、安全・安心で心の通う医療を提供する

方針

1. 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援やサービスに努める
2. 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
 - ①地域医療機関との連携を強化する
 - ②地域に特色のある医療を担う
3. 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める



ジェイコー
JCHO 久留米総合病院
独立行政法人地域医療機能推進機構

熊本地震 災害派遣報告

2016年4月14日、16日の熊本地震が起きました。

甚大な被害や多くの犠牲者、被災者が出てしまったのは報道の通りです。現在も余震が続いております(7月初旬余震回数1600回以上)。熊本、そして大分の被災者、避難者の方々は不便な生活を送り、未だ通常の生活に完全には戻れていない状況が続いています。地震発生当初から国、県主導のもと、災害派遣が各団体から始まりました。

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)グループ、日本看護協会から熊本県に向けて災害派遣することが決定し、我がJCHO久留米総合病院からも4月26日～29日にかけて当院看護師1名、4月29日～5月1日ではJCHOグループの要請で医療救護班として4名が派遣されました。

災害派遣ナース派遣

4月26日から29日までの4日間、災害派遣ナースとして当院看護師1名が派遣されました。災害派遣ナースとは、福岡県看護協会に登録し被災地に派遣される看護職のことです。今回熊本県看護協会、日本看護協会からの要請で、福岡県看護協会登録の当院看護師が派遣されることになりました。災害支援ナースの役割は、被災者が健康レベルを維持できるように適切な医療・看護を提供し、また被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるように努めること、チームで動き情報交換、専門性を活かしたなんでもやる心構え、多職種や支援者と強調した行動を行う…などです。活動場所は菊池郡大津町、大津町老人福祉センターで、福岡県看護協会から2名で派遣されました。

熊本県菊池郡大津町の状況

4月26日時点の大津町被災は、重症3名、軽傷9名、建物全壊107棟、半壊は322棟、一部3棟、ブロックや塀は多数。路面通過不能8、崩壊3箇所。避難者は室内169名、屋外38名、避難箇所17箇所。災害派遣ナースの具体的な仕事として、バイタルサイン測定、症状観察、食事・排泄・内服・入浴介助、D-MAT、D-PAD、JRATの対応、夜間も要介護者の排泄・不眠の援助などです。



支援

以下の支援に対して特に注意を払いました。

①地震に伴うストレスや栄養バランス不足からの免疫力低下による感染症リスク軽減

- ・発熱の有無
- ・手洗い、歯磨き励行
- ・トイレや水回り
- ・おむつ入れの環境整備
- ・食中毒予防
- ・主食のみ食事支援の改善

④内服管理

- ・血圧チェック
- ・服薬管理
- ・D-MATへの診察依頼
- ・かかりつけ医への受診を促す

②飲水や活動量低下による脱水やエコノミッククラス症候群の予防

- ・飲水の必要性の説明と励行
- ・弾性ストッキングの配布
- ・アロママッサージやレクリエーション
- ・運動・JRAT介入の支援

⑤セルフケア不足に対する支援

- ・入浴介助・朝のフェイスクア
- ・歯磨き
- ・衣類交換
- ・スキントラブルの有無

③不安緊張による不眠、休息不足の支援

- ・寄り添い
- ・傾聴
- ・タッチング
- ・昼間の声掛けで信頼感、安心感を築く



支援中に聞かれる不安

支援中に聞かれる不安として、避難所閉鎖がありました。5月7日に縮小閉鎖を行う方針のため、現場の保健師、ケアマネージャー、看護師、ヘルパー、役所と連携し、他避難所への転居、町営アパートや不動産の情報提供、罹災証明書の受付なども早急に検討する必要がありました。また問題点として、医療救護班との緊急時の連絡が取りにくい、どこを巡回しているか把握困難、自己管理で休息、仮眠が不十分であった…などでした。

巡回

この地区は通常の生活に回復しており、すでに開業医、病院も通常通りの医療体制が始まっています。

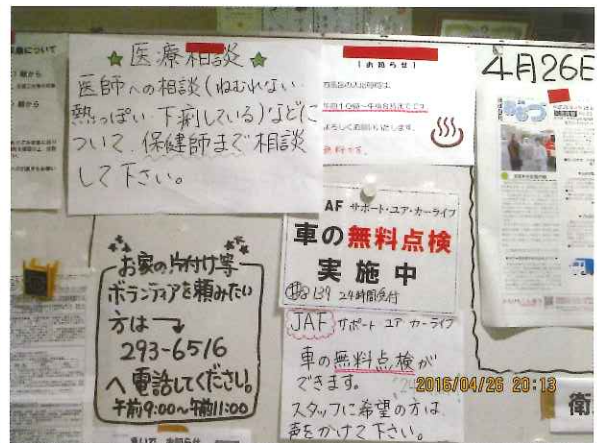
避難所に来られている被災者も昼間は仕事や自宅の片付けに向かっているため、避難所にはご老人と元気な子供達が残っている状況でした。避難所にいる方々は基本的には元気な方が多く、高齢者は血栓予防やストレス解消のため保健師さん指導のもと体操を行い、子供達は外で元気よく遊んでいました。

各種指示は、国から県、県から保健所や各市町本部となっていました。医療の面を保健所が統括して指令しているわけではなく、国、県、保健所の派遣者、ボランティアが突然現場に訪れるので、現場の保健師さんは対応に難渋している面もありました。物資も突然送られてきて、どのようにして被災者の方々に配布するかは決まっておらず、現場スタッフさんの独自の判断に委ねられていました。また現場の状況が国、県、保健所に迅速に伝わっていない印象もありました。個人的には、医療に対する指令はどこかが全てを統括して指令を出すようにしたがよいのでは?と感じました。



医療救護班派遣

4月29日から医療救護班として4名(医師、看護師、薬剤師、事務員)が熊本に派遣となりました。4月29日朝病院を車で出発、まずは熊本県庁に行き、県庁の指令で菊池保健所に移動しました。保健所で現状を聞いたのちに、菊池保健所管轄内の菊池郡大津町の避難所を巡回するために大津町に向かいました(たまたま災害支援ナースと同じ管内でした)。前グループのJCHO宮崎江南病院から申し送りを受け、我々の巡回が始まりました。



すでに我々が到着した時点で医療救護班としてのニーズは終わっており、派遣決定当初求められていた、または自分達が求めていたような状況ではありませんでした。しかし、病院を代表して派遣され、実際に家で生活できず避難している被災者の方々を目の当たりにし、自分達に何ができるか…色々な思いの中班で話し合い、自分達の目標を「大津町地区の避難所全て巡回し声をかけ、何かあれば迅速に対応する」に設定しました。

結果、大津町管内避難所13箇所(4月30日に避難所縮小あり)のほとんどの場所を巡回し、少数でありましたが診察を行うことができました。特に重症疾患患者さんはありませんでしたが、我々が巡回訪問し診察することで避難者の方々、また現場の保健師さん達の安心に繋がったように思えます(保健師さん達も被災者)。

最後に

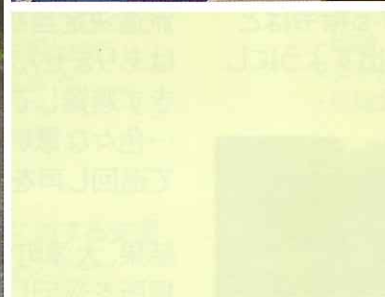
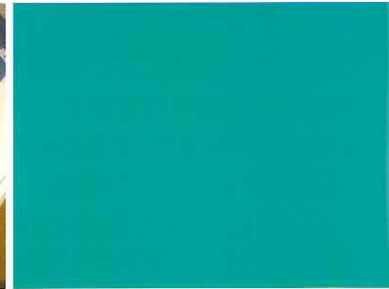
災害は、昨日まで当たり前だったことを急に奪っていきます。普通にできていたことが突如できなくなります。それによる心的、身体的ダメージは、実際に被災していない人間からは想像できないほど大きなものです。通常の整容、生活、感染予防ですら、気が回らず行えない状況に陥ります。それに対して、気を配り、優しく寄り添いながら支援していく必要があります。

災害被災の状況は、長期化で取り巻く周囲の環境が常に変化しています。我々のわずか4日間、そして3日間の滞在期間中でも時間ごとに変わっていきました。支援や物資を投入しても現場の混乱を招くこともあります。これも必要か不必要かはその時々状況によって違います。災害支援は、一日一日の状況の変化に対して、その時々最良の支援は何かを現場で考え、柔軟に迅速に対応しなければなりません。

また現地スタッフさんも被災者であり、日々恐怖や混乱の中で過ごしています。自分やご親族が被災している状況でも、別の被災者のお世話や介護、看護に従事しなければなりません。我々医療救護班、そして災害支援ナースは、現地スタッフも含めた全ての被災者に対して、安心感を少しでも持つてもらえるような存在であれば良いな...と思いました。

1日でも早く余震がなくなり、熊本・大分のみなさんが安心して生活できますよう切に願います。

文責 総合診療科 呼吸器内科 平井 良





新しくなった当院をご紹介します



1階総合受付前待合所 The first floor general reception before waiting



外来受付 Outpatient reception



腎センターラウンジ Renal Center Lounge



5階ナースステーション 5th floor nurses' station



放射線画像診断センター Radiation image diagnosis



個室 One room



売店 convenience store



駐車場 Parking



救急搬送口 Emergency transfer port

2015年度 JCHO久留米総合病院 診療報告

2012年11月より当院は救急告知病院となりました。

以降、救急搬送、時間外Walk in 受診数ともに増え、2015年度は救急搬送964件、時間外Walk in 診察も600件以上となりました。

また入院患者年間総数約40,000人、外来受診者総数約90,000人、健診受診者総数約36,000人、介護老人保健施設利用者総数約45,000人と例年同様、大変多くの皆様にご利用いただきました。

(現在病院154床、介護老人保健施設97床で稼働)

これは、当院を身近に感じていただいている患者様や利用者様、また近隣の医療連携医院や病院、施設様のおかげです。本当にありがとうございました。

今後ともご連絡いただきました際には迅速に対応ができるよう、職員一同さらなる努力を行って参ります。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

救急搬送・時間外Walk in 受診数



2015年度 病院・健診・老健利用者数

入院患者総数	40,109人
外来受診者総数	89,409人
健診受診者総数	36,151人
介護老人保健施設	
入所者総数	31,242人
短期入所生活介護総数	1,608人
通所・リハビリテーション総数	12,061人



診療科紹介 【呼吸器内科】

当院の呼吸器内科は常勤医師4名、非常勤医師1名で行っています。呼吸器の症状は様々ですが、風邪の症状(鼻水、鼻づまり、のどの痛み、声枯れ、発熱)、咳、痰、血痰、喀血、喘鳴、胸痛や息切れがある場合は肺の病気の可能性があります。検診や人間ドックで胸部レントゲン異常あるいは肺がんマーカーの異常や痰の検査の異常を指摘されたときも精密検査が必要です。

診療内容としては、アレルギーに関連する喘息や、たばこに起因する閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎や肺結核後遺症などの慢性呼吸器疾患。急性上気道感染症や膿胸、肺真菌症、肺結核などの呼吸器感染症。肺及び胸部腫瘍、びまん性肺疾患、



睡眠時無呼吸症候群(SAS)などの睡眠障害、呼吸不全、禁煙外来などを中心に診療を行っています。病院だけでなく、健康管理センター、介護老人保健施設を有する施設も併設しており、健康に対して予防から治療、福祉に至る包括的な診療体制が可能です。

また開設以来、近隣の開業医の先生方との連携を密に行い、患者様に対し地域密着型のスムーズな医療提供を心がけてきました。他診療部門との連携のみならず久留米大学 呼吸器・神経・膠原病内科の主要関連施設として緊密に医療連携を行っており、特殊な肺疾患に対しても良質な医療の維持・提供を目指しています。

どうぞ、呼吸器疾患でご心配がある方は当呼吸器内科にお気軽にご相談ください。



地域連携室におけるソーシャルワーカーの役割

医療社会事業専門員の永松祐介と申します。7月より附属老健より配置転換で初めて病院の地域連携室へ配属になりました。不慣れなもので、皆様にご迷惑をおかけしております。ベテランの医師、看護師、事務員にご協力頂きながら一生懸命に頑張っております。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

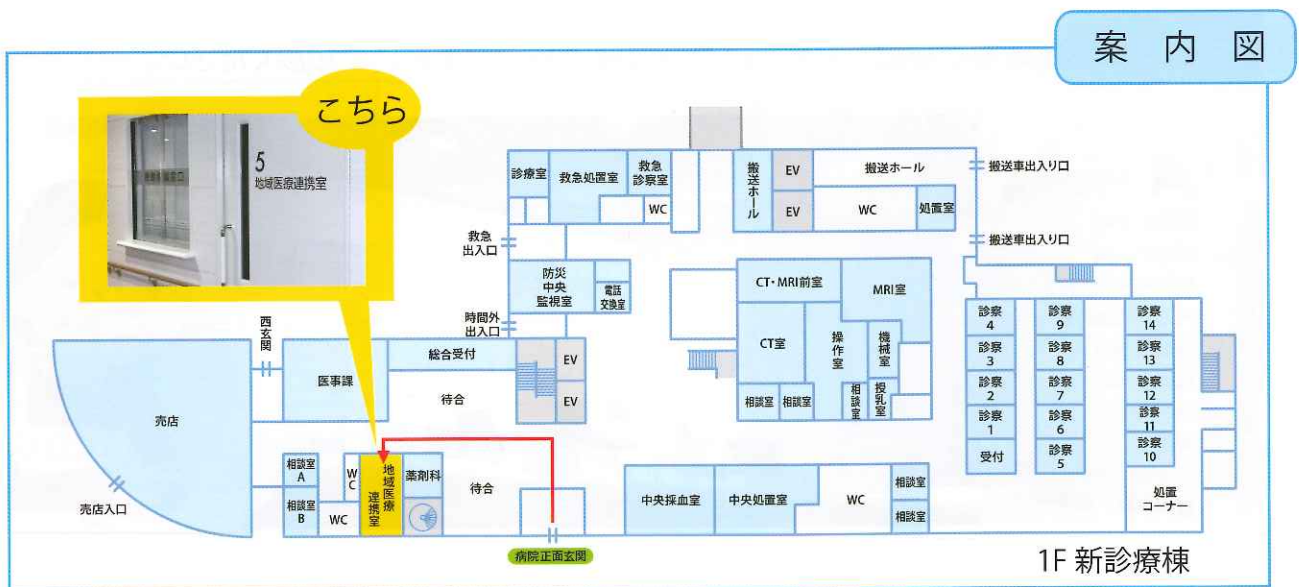


ソーシャルワーカーの役割とは

- ①まずはゆっくりと話を伺います
- ②病院の中で対応が困難な事柄については他の適切な機関や施設へ紹介します。
- ③病院のスタッフとのやりとりが難しいと感じたら、通訳的な役割を果たします。
- ④患者さまの基本的な人権を尊重するために動きます。
- ⑤患者さまがどのような気持ちでどのような状況に置かれているかを病院のスタッフに伝え、チームで患者さまをサポートします。
- ⑥退院援助としてさまざまな相談(退院のイメージづくり、状況に応じた退院の選択肢(病院や施設)の紹介、退院後のサービスの紹介)をお受けしております。
- ⑦さまざまな制度、しくみがどうなっているのか、情報を集め、お伝えします。
- ⑧病診連携のための報告書関係の管理も行っています。

人は、病気や怪我をすると『体が不自由になっては困る』『自分が出来ないことが増えると困る』『日常生活・社会生活が出来にくくなっては困る』などの困ることがたくさんできます。ソーシャルワーカーは、そのお困りごとのご相談ひとつひとつに応じ患者さまご家族さまと一緒に取り組んで参ります。

私どもソーシャルワーカーをご利用いただきまして、患者さまご家族さまに快適で安心した入院生活を過ごしていただき、また医療関係者の皆様におかれましても連携の窓口として活用頂ければ幸いです。



居宅介護支援センターの役割

皆さん、もし身近な人が、突然介護が必要になったら
どうしよう、と不安に思うことはありませんか？

高齢化社会の今日、介護という言葉が様々なところで耳にするよう
になりましたが、実際には他人事のように感じる場合が多いと思います。

しかし身近な人が介護を必要とする状態になったとき、介護の言葉は聞いたことはあってもその知識
や技術が殆んどない素人が突如として介護を担うこととなります。その為、介護を突然担うことへの不
安を強く抱くのは当然のことと思います。

かつてのように介護を家族全体で担うことが困難になり、介護を社会全体で支える必要から介護保
険の制度が作られて16年が経過しました。介護が必要な状態になっても住み慣れた家で生活できるよ
う、介護保険を利用することにより様々なサービスを受けることができます。しかし介護保険を利用する
にも要介護認定を受ける、ケアプランを作成する、など複雑で分かりにくい制度の壁が大きく立ちは大
かります。

介護に関する様々なご相談や介護保険のサービスを利用するためのケアプランの作成など、私たち
ケアマネジャーがお手伝いします。

当院がかかりつけであったり、退院を控えていたりしている方が、今後在宅での介護をお考えの方は、
ぜひ一度私たち久留米総合病院附属居宅介護支援センターへお気軽にご連絡下さい。



久留米総合病院附属
居宅介護支援センター
ケアマネジャー
山田 孝典

居宅介護支援センター

AM8:30~PM5:30
(月曜日~金曜日)

電話:0942-31-3555



健康管理センターからのお知らせ

●久留米市民健診のご案内

久留米市が実施する生活習慣病予防健康診査及び各種がん検診等は、6月1日～11月30日までです。当健康管理センターでは、月曜日から金曜日まで実施しており、ご予約は必要ありません。久留米市の健康手帳と保険証をご持参のうえ、お越しください。例年、10月～11月にかけて受診される方が多く、お待ちいただく時間が発生しておりますのでお早目の受診をお勧めします。

久留米市民健診の種類／対象者

- ①生活習慣病予防健康診査／35歳～39歳……………500円
- ②特定健康診査／40歳～74歳……………500円 ※「受診券」が必要です。
- ③後期高齢者健康診査／75歳以上……………500円 ※「受診票」が必要です。

自己負担金

【がん検診】

- ④肺がん検診／40歳以上……………500円
 - ⑤大腸がん検診／40歳以上……………700円
 - ⑥前立腺がん検診／50歳以上の男性……………400円
 - ⑦子宮頸がん検診／20歳以上の女性……………900円
 - ⑧乳がん検診／40歳以上 偶数年齢の女性……………40歳以上 1,100円
50歳以上 1,400円
 - ⑨骨粗しょう症検診／25歳～75歳5歳毎の女性……………500円
- ※クーポン券、生活保護や市民非課税証明書をお持ちの方は、無料となります。

受付時間

- ①～③：8時30分～9時まで ※血液検査がありますので、絶食でお越しください。
- ④～⑨：8時30分～9時30分まで

祝日健診

9月22日(祝・木)・11月23日(祝・水)
久留米市民健診・企業健診を行います

J.M.S

ジャパン・マンモグラフィー・サンデー

予約制
先着 50名様まで

2016年10月16日

日曜日

当院では、今年も10月の第3日曜日に子育て・介護・仕事などで多忙な平日をお過ごしの方を対象に乳がん検診・子宮頸がん検診を予約制で実施します。ぜひご利用ください。

乳がん検診

- ▶▶ ①久留米市民健診の乳がん検診受診対象の方
 - 視触診＋マンモグラフィー検査(1方向)……………1,100円
 - 視触診＋マンモグラフィー検査(2方向)……………1,400円
- ▶▶ ②福岡県内広域圏無料クーポンをお持ちの方……………無料
- ▶▶ ③実費で受診される方(①・②の対象以外の方)
 - 視触診＋マンモグラフィー検査……………4,750円
 - マンモグラフィー検査＋乳房エコー検査……………8,640円

子宮頸がん検診

- ▶▶ ①久留米市民健診の子宮頸がん検診受診対象の方……………900円
- ▶▶ ②福岡県内広域圏無料クーポンをお持ちの方……………無料
- ▶▶ ③実費で受診される方(①・②の対象以外の方)……………3,350円

TEL：0942-33-1211 FAX：0942-33-1218

※平日(月～金)13:00～17:00の間にご連絡ください。

※当院ホームページから申込用紙をダウンロードして必要事項をご記入のうえ送信をお願いいたします。

<http://kurume.jcho.go.jp/>

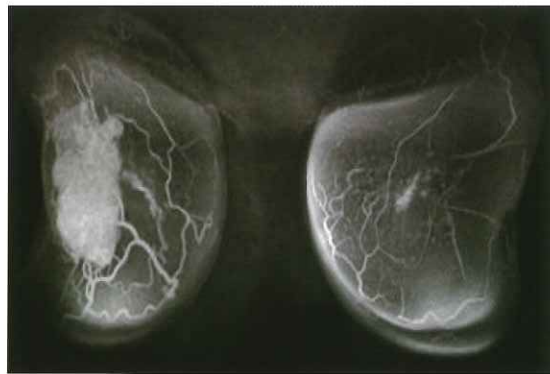
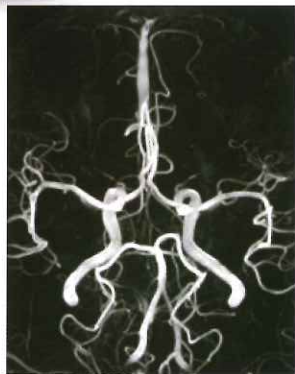
3テスラ超伝導MRI装置のご案内



『世界初デジタルブロードバンドMRI』

このMRI装置は、X線CT装置などとは異なり放射線を使用しないため人体への放射線被ばくの影響がなく、人体のあらゆる方向の断面の画像を得ることができます。

- ✓ Full Digital Coilにより40%のSNRの向上
- ✓ 3.0T装置の弱点であった体幹部領域の画質改善
- ✓ デジタルコイルが可能にする高速撮像と高分解能の両立
- ✓ 新アルゴリズムによって面内外からの複雑な動きを補正可能



ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。

2016年度 市民公開講座



2016年度 市民公開講座

今年度、市民の皆さま・患者さまを対象とした市民公開講座を下記日程・テーマで実施いたします。
各講座を当院医師・薬剤師・保健師・看護師が担当します。
予約の必要はありません。皆さまのふるってのご参加をお待ちしております。



第1回:7月15日(金)
「加齢と血圧上昇」
～元気で長生き、健康寿命を延ばそう!～
講師: 山井医師(当院循環器科)



第4回:12月9日(金)
「寒い冬を乗り切ろう」
～インフルエンザを予防するには～
講師: 石橋保健師
(当院健康管理センター)



第2回:8月12日(金)
「認知症ってなんだろう?」
～物忘れの違い・認知症のサイン
～こんなときどうする?～
講師: 祐答院認定看護師
(当院老人保健施設)



第5回:2月10日(金)
「上手なお薬との
つきあい方」
講師: 当院薬剤師



第3回:10月14日(金)
「乳がんを知ろう」
～乳がん検診を受けませんか～
講師: 当院乳腺外科医師

※講師の都合上、変更もありますのでご了承ください。

場所は当院2階講堂です
14時～15時を予定しています
参加は無料です

お問い合わせ

独立行政法人地域医療機能推進機構



久留米総合病院

健康管理センター

TEL 0942-33-1211



今年度はこの日程、テーマで開催中です。

場所は当院2階講堂です。

14時～15時を予定しています。

参加は無料です。

皆様のご参加をお待ちしております。



第1回「加齢と血圧上昇」講演

合格・資格・認定証

佐藤郷子先生が人間ドック認定医、リハビリテーション科専門医に認定されました。



栄養管理室 牛島瑞恵室長が病態栄養認定管理栄養士として認定されました。



甲斐田教子さんが、公益社団法人日本超音波検査士に合格されました。

地域連携室の永松祐介さんが、精神保健福祉士の国家試験に合格されました。



人事異動のお知らせ

○平成28年6月1日付採用	○平成28年7月1日付転任
<p>【腎センター】 任期付准看護師 プリマ クリスマワティ (インドネシアより来日) ※福岡県医師会が推進している外国人看護師支援事業で、EPA(経済連携協定)に引き続き正看護師資格取得支援を行う事業</p>	<p>(九州病院より) いの るみ 【4階病棟】看護師 井野 瑠美</p>
○平成28年6月1日付転勤	○平成28年7月1日付配置換
<p>【4階病棟看護師】 本川 聡子 JCHO 諫早総合病院へ</p>	<p>(支援相談員→医療社会事業専門員) <small>ながまつ ゆうすけ</small> 【地域連携室】医療社会事業専門員 永松 祐介</p>
○平成28年6月1日付採用	○平成28年7月1日付採用
<p>【老健】任期付介護福祉士 <small>しぎょう たかのり</small> 執行 貴徳</p>	<p>【老健】任期付介護福祉士 執行 貴徳</p>

クールビズ

当院は5月1日より9月30日までの期間をクールビズとして、執務中の軽装を励行致しておりますのでお知らせいたします



軽装励行期間のお知らせ (クールビズ)

期 間 : 5月1日～9月30日
軽 装 : ネクタイ・上着を着用しない、
半袖シャツ
その他適切な軽装

上記の期間は「軽装(クールビズ)励行期間」として、執務中の軽装を励行しております。

エコアクションの設置年度は2017年度
環境省「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」
日常生活の中で地球温暖化対策を実施いたしました。啓発期間は6月21日(火)～7月7日(木)で、特別実施日は6月21日(夏至)7月7日(クール・アースデー)に20時～22時までライトアップ、施設や各家庭の照明の一斉消灯をおこないました。

独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO 久留米総合病院

エコ活動

環境省「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」日常生活の中で地球温暖化対策を実施いたしました。啓発期間は6月21日(火)～7月7日(木)で、特別実施日は6月21日(夏至)7月7日(クール・アースデー)に20時～22時までライトアップ、施設や各家庭の照明の一斉消灯をおこないました。

職員はなるべくエレベータ使用を控え、階段を利用して健康増進を目指し、また配膳時間は新館エレベータの利用は控え、エコ活動に貢献しています。



編集後記

四月より広報委員になりました、石松有子と申します。初めて経験する事ばかりで、ご指導いただくこともあるかと存じますが宜しくお願い致します。

早いものでもう八月、真夏の到来です。梅雨も明け、海、花火、お祭り等、楽しいことが目白押し季節になりました。夏を満喫する為、夏バテには気をつけて楽しみたいと思います。

最後に、広報委員会の方々をはじめ、たくさんの方にご協力いただき、今回も無事に広報誌を発行することができました。本当にありがとうございました。皆様楽しんで頂けるよう、頑張りますのでこれからもよろしく願います。

(広報委員 石松 有子)



■内科

【受付時間】 午前 8:30 ~ 11:30 午後 1:00 ~ 3:00

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器内科	平井良 (新患担当)	平井良 (隣接外来のみ)	小田華子 (新患担当)		未安禎子 (新患担当)	北里裕彦 (隣接外来のみ)	北里裕彦 (新患担当)	北里裕彦 (専門外来のみ)	北里裕彦	
	北里裕彦		北里裕彦		山田和子		平井良		山田和子	
腎臓内科			岩谷龍治 南浩	岩谷龍治	千葉弘胤		南浩			
内分泌代謝内科 (糖尿病/甲状腺)	徳渕市朗	徳渕市朗	徳渕市朗				徳渕市朗 (甲狀腺)		光井暁子	徳渕市朗
	松尾裕子	松尾裕子	松尾裕子				松尾裕子		松尾裕子	松尾裕子
消化器内科	松隈則人		佐々木望		松隈則人		吉武めぐみ		吉武めぐみ	
循環器内科	佐々木望				増田裕		増田裕			
	平井祐治		阪上暁子		平井祐治		平井祐治		佐藤宏美	

■外科

【受付時間】 午前 8:30 ~ 11:00

一般消化器外科	村上直孝		白水和雄		白水和雄		岐部史郎		村上直孝	
	岐部史郎		日野東洋				高橋健二郎			
乳腺外科	田中真紀		大塚弘子		田中真紀 (初診のみ)				田中真紀 (予約のみ)	
	山口美樹 (初診のみ)				山口美樹				山口美樹	
									大塚弘子 (初診のみ)	
										※形成外科(毎月第4水曜日)

■整形外科

【受付時間】 午前 8:30 ~ 11:00

安藤則行		安藤則行		伊藤弘雅		安藤則行 副島崇 びざスポーツ専門		安藤則行	
------	--	------	--	------	--	-------------------------	--	------	--

■産婦人科

【受付時間】 午前 8:30 ~ 11:00

園田豪之介		園田豪之介		園田豪之介		園田豪之介			
稗田太郎		稗田太郎		稗田太郎		稗田太郎			
畑瀬哲郎		畑瀬哲郎		畑瀬哲郎		久留米大学 非常勤医			

現在、分娩の取り扱いを休止しております。

■泌尿器科

【受付時間】 午前 8:30 ~ 11:00

大西怜		大西怜		大西怜		大西怜		黒瀬浩文	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	------	--

水曜日：初めて受診される方も再来の方もすべて受付は10:30までとなります。(予約は除く)

■麻酔科/ペインクリニック内科

【受付時間】 午前 8:30 ~ 11:30

杉山和英		園田真由		杉山和英		杉山和英 (予約のみ)		杉山和英	
園田真由				園田真由				西尾薫理	

■眼科

【受付時間】 午後 1:00 ~ 3:00

				久留米大学 非常勤医					久留米大学 非常勤医
--	--	--	--	---------------	--	--	--	--	---------------

■皮膚科

【受付時間】 午後 1:00 ~ 3:00

				久留米大学 非常勤医					
--	--	--	--	---------------	--	--	--	--	--

■放射線科

河野れい	寺崎洋	河野れい	寺崎洋	寺崎洋	寺崎洋	河野れい	河野れい	河野れい	寺崎洋
------	-----	------	-----	-----	-----	------	------	------	-----

他院からの紹介・検査依頼に基づいて画像診断を行いますので、患者様からの直接のお申込はできません。

■総合診療科

【受付時間】 午前 8:30 ~ 11:30 午後 1:00 ~ 3:00

佐々木望	小田華子	小田華子	岩谷龍治	未安禎子	山田和子	北里裕彦	松隈則人	山田和子	千葉弘胤
平井良	(北里裕彦)	(北里裕彦)				(平井良)		(北里裕彦)	

午後は初めての方のみの受診となります。

■女性総合診療科(水曜午後)

【受付時間】 午前 8:30 ~ 午後 3:00 【診療時間】 午後 1:30 ~ 4:00

						各診療科 女性医師			
--	--	--	--	--	--	--------------	--	--	--

※各診療科すべて、初めて受診される方も再来の方も事前のご予約が必要となります。

担当医 佐々木望(消化器内科)/松尾裕子(糖尿病内科)/小田華子(呼吸器内科)/亀尾順子(内分泌内科)/富田裕子・上松幸子(内科)
田中真紀・山口美樹・大塚弘子・佐藤郷子(乳腺外科・外科)/高尾真美(産婦人科)/守屋普久子(泌尿器科)

※内科 富田医師は第1・第4水曜日のみ ※泌尿器科 第1水曜日は完全予約制ですので受診希望の方は事前のご予約が必要となります。

■精神科(リエゾン科)

※当院を受診中の患者様を対象とした診療を予約制で行っています。毎週水曜日(午後) 担当医：江口 寛

■腎センター

	月	火	水	木	金	土
腎センター 外科	枝國節雄	枝國節雄		枝國節雄	枝國節雄	
血液透析	●	●	●	●	●	●
GAPD	●					

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町21番地 TEL: (0942) 33-1211 FAX: (0942) 32-0113

2016年6月1日改定



ジェイコー

JCHO 久留米総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構

Japan Community Healthcare Organization: JCHO

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町 21 番地

TEL: 0942-33-1211 FAX: 0942-32-0113 URL: <http://kurume.jcho.go.jp/>

2016年8月発行 発行責任者：院長 田中真紀 編集：広報委員会